

入賞 「最高の出会い」

みかさん(神奈川県)

講評 イクラを持っているお子さんの笑顔に癒される作品です。あえてパッケージを手前に置いて迫力を出して、お子さんの頭も切っちゃう大胆な構図に驚かされました。お子さんにピントが合っていて、いい作品になっています。



入賞 「食卓の輝き」

守屋裕介さん(兵庫県神戸市)

講評 イクラの粒々が一つ一つ輝いていて、本当にきれいな作品です。器の上の方に余計なものが写ってしまっているのが残念ですが、イクラ丼に集中して写真を撮っていらっしゃる姿が想像できます。今後から撮影するときは画面の四隅をよく見てくださいね。



入賞 「北海欲張り丼」

中村智子さん(東京都大田区)

講評 盛り付けもきれいですし、偶然かもしれませんが光の当て方もきれいでおいしそうです。どんぶりの両サイドもカットされており、迫力があっていい感じに仕上がった作品です。本当に食べたくなる気持ちをかきたてるいい作品になっています。



入賞 「白糠町スペシャル鮭といくらの親子ちらし寿司」

望月美由紀さん(東京都中央区)

講評 食卓をバランスよく切り取られていて、背景のちょっとしたボケもいい味わいになっており、空気感と臨場感の伝わる作品だと思います。メインの親子ちらしをあえて寒色のお皿にのせて、イクラやサケを目立たせているアイデアもすばらしいです。



最優秀賞

「寿司トツォ」

真理さん(神奈川県)

講評

大きな寿司トツォ。迫力がありおいしそうで、きれいな作品です。背景の余計な写り込みもボケを利用して、目立たないように処理されていて、背景がボケることにより主役である寿司トツォがドーンと目立っていい感じですよ。いくらとエンペラーサーモンが元気に見えます。キャンプでの1コマだそうですが、すてきでおしゃれな写真をたくさん撮られているのですね。そんなことを感じさせる作品です。



優秀賞

「ごちそうイクラのカルボナーラ」

2人チーム「ハングオーバープレート」さん(東京都目黒区)

講評

イクラのカルボナーラを不思議なパスタを使って料理されているアイデアもすばらしいのですが、白いプレートに料理をのせて白い背景で撮影する。とっても難しいのですが、きれいに仕上がっていて感心しました。真上から撮影しているのもわかりやすくいいです。



特別賞はふるさと納税
担当職員が選定

特別賞

「秋のごちそう」

小林友梨さん(東京都墨田区)

講評

土鍋を使っておいしそうに炊き上がったサケはらこ飯。大きなサケときれいなイクラのコントラストがいいですね。土鍋の色が画面を締めていてチョイスされたセンスがいいですね。できれば携帯コンロが写ってなければもっと迫力のある写真になったかもしれませんね。



入賞

「イクラと水菜のバターしょう油パスタ」

大田真誉さん(埼玉県川口市)

講評 イクラの粒が一つ一つ輝いていて本当にきれいな写真です。後ろのパッケージもそうですが、ちょっとシワになった布やさりげないフォークの演出がちょっとプロっぽくてすごいと思います。あかりの捉え方もしっかりしていて、びっくりするほど玄人好みの作品です。



小学生の作品

白糖小学校の3年生23人からもフォトコンテスト(一般の部)への応募がありましたので、大滝さんに審査していただきました。

「木に枯葉」

新藤愁弥君

最優秀賞



「枝と光」

優秀賞

本田虎太郎君



「雪に顔」

特別賞



大内祐輝君